

区政報告 区議会第1回定例会

2月20日から区議会第1回定例会が始まりました。各党の代表質問が行われました。

以下、ご報告します。

「株式会社の参入・・・認可保育園の整備促進の選択肢の一つ」区議会で部長が答弁

区議会本会議で、萩原子ども部部長は「今後の待機児問題においては社会福祉法人だけでなく株式会社等民間の参入拡大による認可保育園の整備促進を選択肢の一つと考えております」と答弁しました。公明党の質問に答えたものです。

日本共産党は、保育の市場化につながると、保育への営利企業の参入に反対してきました。

保育の質を守れ！
民営化反対！の区民の運動を背景に、区は2005年に「区立保育園民営化ガイドライン」を策定。この中で民営化の受け皿は株式会社を入れず社会福祉法人等としました。新たな認可保育園を設置するときも株式会社を参入させていません。今回の答弁は「ガイドライン」の見直しを示唆するものです。



生活保護基準引下げについて「安易に影響が連動することのないよう見定めていく」と保坂区長が答弁

安倍政権が生活保護基準の引き下げを狙っています。生活保護基準が引き下げられれば就学援助や住民税非課税限度額、最低賃金など次々と影響が出ます。民主・自民・公明による社会保障と税の一体改革推進法が強行され、安倍政権は本格的に進めようとしています。



社会保障そのものを解体するものです。日本共産党は桜井稔区議の代表質問で、この問題を指摘し、安倍政権が狙う生活保護基準の引き下げについて区長の認識をたどしました。保坂区長は「生活保護基準の見直しは、受給している人のみならず、その基準が区民生活に直結する様々な行政施策の判断に用いられることから、区としても安易に影響が連動することにならないように、慎重に見定めてまいります」と答弁しました。

こんにちは

日本共産党 区議会議員 **江口 じゅん子** です

江口 じゅん子区政報告
2012年3月3日

TEL 5432-2791 / FAX 3412-7480

Email: eguchi@jcp-setagaya.jp